

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
【発行日】 平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】 特表 2004-521533 (P2004-521533A)
【公表日】 平成 16 年 7 月 15 日 (2004.7.15)
【年通号数】 公開・登録公報 2004-027
【出願番号】 特願 2002-555533 (P2002-555533)
【国際特許分類第 7 版】

H O 4 N 7/32

【F I】

H O 4 N 7/137 Z

【手続補正書】

【提出日】 平成 16 年 12 月 27 日 (2004.12.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

実行されたときに、

ビデオ符号化中に使用されるビデオ符号化レートを、少なくとも部分的に、符号化されるビデオ画像の選択された部分のピクセル値の変動の測定値とビット・バジェットに基づいて調整することによって

ビデオ符号化を実行する命令を格納した記憶媒体を備える物品。

【請求項 2】

前記媒体が、実行されたときに、マイクロブロックを備えるビデオ画像の選択された部分を符号化する命令をさらに格納している請求項 1 に記載の物品。

【請求項 3】

前記媒体が、実行されたときに、やはり少なくとも部分的にマイクロブロックのタイプに基づいてビデオ符号化レートを調整する命令をさらに格納している請求項 2 に記載の物品。

【請求項 4】

前記媒体が、実行されたときに、絶対差の和 (S A D) を含む変動の測定値をもたらす命令をさらに格納している請求項 1 に記載の物品。

【請求項 5】

前記媒体が、実行されたときに、ビデオ符号化中に使用される量子化ステップ・サイズを調整することによってビデオ符号化レートを調整する命令をさらに格納している請求項 1 に記載の物品。

【請求項 6】

実行されたときに、

ビデオ符号化中に使用されるビデオ符号化レートを、少なくとも部分的に、符号化されるビデオ画像の選択された部分のピクセル値の変動の測定値とビット・バジェットに基づいて調整して符号化されているビデオを復号することによって

ビデオ復号化を実行する命令を格納した記憶媒体を備える物品。

【請求項 7】

前記媒体が、実行されたときに、マイクロブロックを備えるビデオ画像の選択された部分を符号化する命令をさらに格納している請求項 1 に記載の物品。

【請求項 8】

前記媒体が、実行されたときに、やはり少なくとも部分的にマイクロブロックのタイプに基づいてビデオ符号化レートを調整する命令をさらに格納している請求項 2 に記載の物品。

【請求項 9】

前記媒体が、実行されたときに、絶対差の和 (S A D) を含む変動の測定値をもたらす命令をさらに格納している請求項 1 に記載の物品。

【請求項 10】

前記媒体が、実行されたときに、ビデオ符号化中に使用される量子化ステップ・サイズを調整することによってビデオ符号化レートを調整する命令をさらに格納している請求項 1 に記載の物品。

【請求項 11】

ビット数と、様々な量子化ステップ・サイズの場合の複数のビデオ画像のピクセル信号値の変動の間の関係を含む参照テーブルを格納している記憶媒体を備え、

前記記憶媒体が、参照テーブルおよびビット・バジェットを使用してビデオ符号化のレート制御を行う命令をさらに格納している物品。

【請求項 12】

命令がプロセッサによって実行されたときにビデオ符号化のレート制御の実行に参照テーブルが使用される請求項 11 に記載の物品。

【請求項 13】

ピクセル信号値の変動が S A D を含む請求項 12 に記載の物品。